

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和6年1月1日～6月30日現在)

函館労働基準監督署

区分 業種別	令和6年6月末			令和5年6月末			対前年		業種・割合 (%)	令和5年(確定)			
	死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	増減数	増減率 (%)		死亡	休業4日以上	計	
全産業合計	3	273 (16)	276 (16)	2	473 (13)	475 (13)	-199	-41.9	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)	
除く鉱業計	3	273 (16)	276 (16)	2	473 (13)	475 (13)	-199	-41.9	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)	
製造業		53 (1)	53 (1)		61	61	-8	-13.1	19.2		109	109	
内 訳	水産食料品		29		31	31	-2	-6.5	10.5		59	59	
	他の食料品		9		13	13	-4	-30.8	3.3		20	20	
	木材木製品・家具		4		6	6	-2	-33.3	1.4		9	9	
	窯業土石製品		4 (1)	4 (1)			4		1.4		2	2	
	金属・機械		2	2		3	3	-1	-33.3	0.7		5	5
	輸送用機械等		2	2		3	3	-1	-33.3	0.7		4	4
	その他		3	3		5	5	-2	-40.0	1.1		10	10
鉱業													
土石採取業		1 (1)	1 (1)				1		0.4		1	1	
建設業	2	24	26		34 (3)	34 (3)	-8	-23.5	9.4		88 (6)	88 (6)	
内 訳	土木工事業	1	12	13		12 (3)	12 (3)	1	8.3	4.7	35 (5)	35 (5)	
	建築工事業		8	8		14	14	-6	-42.9	2.9	32 (1)	32 (1)	
	木造建築業		3	3		3	3			1.1	9	9	
	その他の建設業	1	1	2		5	5	-3	-60.0	0.7	12	12	
道路貨物運送業		26 (2)	26 (2)		24 (1)	24 (1)	2	8.3	9.4		45 (1)	45 (1)	
その他の運輸		5	5		5 (1)	5 (1)			1.8		11 (3)	11 (3)	
陸上貨物取扱業		1	1		1	1			0.4		1	1	
港湾運送業		1	1				1		0.4				
林業		2	2		2 (1)	2 (1)			0.7		4 (1)	4 (1)	
水産業		4	4	1	12	13	-9	-69.2	1.4	1	19	20	
卸売・小売業		33 (1)	33 (1)		40 (1)	40 (1)	-7	-17.5	12.0		76 (1)	76 (1)	
清掃業		14	14		11	11	3	27.3	5.1		35 (4)	35 (4)	
その他の事業	1	109 (11)	110 (11)	1	283 (6)	284 (6)	-174	-61.3	39.9	2 (1)	472 (7)	474 (8)	
内 訳	保健衛生業		68 (1)	68 (1)		236 (1)	236 (1)	-168	-71.2	24.6	1	370 (1)	371 (1)
	接客娯楽業		14 (6)	14 (6)		12	12	2	16.7	5.1		39	39
	その他	1	27 (4)	28 (4)		35 (5)	35 (5)	-7	-20.0	10.1	1 (1)	63 (6)	64 (7)
今月のコメント	<p>1 労働災害の状況(令和6年6月発生分) 全産業の労働災害の労働災害は276名で、前年同時期に比べ、199名減少しています。 事故の型別では、多い順に「転倒」76名、「その他」50名、「動作の反動・無理な動作」24名となっています。</p> <p>2 6月受付分について 全体で55名の令和6年発生分の労働者死傷病報告を計上しました。保健衛生業が20名、道路貨物業が6名となっています。</p> <p>3 コメント 7月は「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間です。水分・塩分を積極的に取らせ、作業中の健康状態の確認及び巡視頻度の増加、暑さ指数に応じた作業中断等を徹底してください。また体調不良の者に異常が認められたときは、躊躇することなく救急隊を要請するなどの措置を講じてください。</p>												